



はじめに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、医療の最前線で新型コロナウイルス感染症に立ち向かっていただいている医療従事者の皆さま、学生・生徒・園児のための施策を検討・実行いただきました国や地方自治体、私学関係者の皆さまに心から感謝いたします。

本学院でも幸いなことに、遠隔授業の活用や分散登校の導入により大学は5月、中学・高等学校は6月から授業を開始し、少しずつではありますが日常を取り戻しつつあります。

日々変わる状況の中、先が見えず不安が伴いますが、私たちは支え合いながらこの困難を共に乗り越え、共に強くなれると確信しております。

今後ともご支援、ご協力の程宜しく願いいたします。

Contents

ごあいさつ	1	聖書の言葉	3
新任教職員紹介	2	九州ルーテル学院古本募金ご報告	3
ルーテル学院中学・高等学校にチェンバロが導入されました	2	2019年度会計報告	4

新任教職員紹介

2020年4月からルーテルのメンバーになった方々をご紹介します。



写真上段（向かって左から）

大学 職員：玉田 俊 子ども園 保育教諭：今田 結稀 大学 助教：久保 幸貴 中高 教諭：中村 俊樹 中高 教諭：杉田 淳之介
中高 教諭：藤原 孝 中高 職員：保井 隼人 中高 教諭：吉安 香寿恵 大学 職員：大塚 加奈 大学 職員：福田 朋昭

写真下段（向かって左から）

中高 チャプレン：永吉 穂高 大学 准教授：増本 利信 子ども園 保育教諭：浅尾 祐圭 中高 教諭：藤本 まなみ
中高 教諭：宇野 詩織 中高 教諭：木村 志生乃 法人事務局 職員：山崎 太維志 法人事務局 事務局長：内田 正秋



ルーテル学院中学・高等学校に チェンバロが導入されました

チェンバロは、ピアノよりもずっと前からある歴史のある楽器で、見た目はピアノに似ていますが、音を出す仕組みが異なります。

チェンバロは爪のついた部品が上下し、弦を弾いて音を出します（ギターや箏と同じ仕組みです）。繊細な音を奏するため、音を出すテクニックも音楽の表現方法もピアノとは異なります。全国的にとっても珍しい楽器です。ルーテル学院中学・高等学校では生徒の皆さんへチェンバロを広く開放しています。



聖書の言葉

大学チャプレン 雀 大凡

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリストイエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

(テサロニケの信徒への手紙-5章16~18節)

あるリハビリテーション病院に勤めながらたくさんの患者さんに携わっている方の手記を読んで心被打れました。手や脚を切断された患者、がん細胞が転移して腕を失った方、両腕に重い義手を付けられた方…彼らはみんなこう言うそうです。「手と腕、脚がこんなに大切なものとは知らなかった」。そのような切実な姿を見ているその方は、食事の前にだけでなく、トイレに行くときにも感謝の祈りをされるそうです。「自分の力でトイレに行けることを感謝します」。肺がんを患っている方はこう言います。「息をするのは一番簡単なことだと思ったのに、肺がんになるとこれが一番難しいね」。「呼吸は当たり前ではない」こと、コロナウイルスの影響を受けて生活する私たちも共感できることではないでしょうか。全身麻痺の方はこう言います。「自分が下半身麻痺だけだったらどんなにいいことだろう。腕さえ動くなら、自分の手で車いすを動かして何とか働けるのに…」

不自由な方々と比較して自由な人の幸せを語るつもりではありません。大きな困難を背負っている方々に申し訳ないと思いつつ、多くの私たちが当たり前だと

思っ、忘れがちな、尊い「自分の資産」を思い出すためです。感謝するどころか、自分が出ることさえ忘れ、自分がないものばかり、困難ばかり思う自分がいるなら、私を含め、少し見方を変えてみたらと思いきーボードを打っています。喜ぶこと、祈ること、感謝すること。これらは必ずしもびっくりするくらいの何かがあってするものではなく、ただ自分を見つめることで、正確に深く見つめることで出来るものではないかと気づかされます。

コロナウイルスの影響で多くのものが変わり、以前にはなかった不安と不便もあることでしょう。同時に、なお出来ることに目を向けることも可能です。数値で数えられないくらいの尊い「資産」も、自分の中から、私たちの間から、この学院の中から見出すことは出来ると信じます。いつも喜び、祈り、感謝することを望んでおられる神の望みは、まさに主イエスの教えを土台とする、今の私たちの学院にも当てはまることではないでしょうか。実はそれが、真の奉仕の出発かも知れません。「感恩奉仕」、どんなときにも当てはまる私たちの精神的な資産です。

古本募金報告



2019年3月~2020年5月までの募金額 79,334円になりました。

九州ルーテル学院古本募金の趣旨をご理解いただき、たくさんのご協力・ご支援をいただきましたことを心から感謝申し上げます。インターネットからの古本募金は現在、新型コロナウイルス感染症の関係で寄附受付を一時的にストップしており、9月から再開予定です。

詳しくは で検索ください。

また、学院への本のお持ち込みは承っております。引き続き、みなさまのご協力・ご支援をよろしく願いいたします。

● お問い合わせ ●

九州ルーテル学院 法人事務局 電話：096-343-3111 (平日 8:15 ~ 17:00 受付)
メール：shomu@klc.ac.jp



◆2019年度会計報告◆

ご挨拶と会計のご報告

2020年4月より事務局長として着任しました内田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本法人の2019年度決算は、表のようになりました。より詳しいご報告は、学院ホームページの『情報公開』の「財務報告書（2019年度版）」をご覧ください。

（概要）

2019年度決算は△約998万円となり前年度決算より約4,380万円減少しました。減少の主な要因は新入生の減少や、こども園の基本保育料が10月から無償化したことなどによるものです。また、前年に引き続き、学院内美化への取り組みとして大学のトイレ改修工事、及び学生の利便性を高めるための学生支援センター改修工事を行いました。その他、中高生が利用する男子寮の厨房機器の更新、こども園の遊具設備の改修、更に学院全体の安全対策のため主要箇所に防犯カメラを設置するなど、総額約8,200万円の設備投資を行いました。

なお、これまでの借入金は計画通りに返済ができており、現在、キャンパス全体の環境整備も計画しているところです。今後も教育の質をあげるべく収入の確保、経費縮減等に努めて参ります。

このように、学生・生徒・園児からの校納金等は教育環境の改善と財務体質の強化に活用させて頂いていることをこの場をお借りして感謝を申し上げますとともに、ご報告いたします。

（事務局長・内田正秋）

貸借対照表

2020年3月31日現在（単位：千円）

	科目	本年度末
資産の部	固定資産	4,663,269
	有形固定資産	4,351,950
	土地	1,494,760
	建物	1,937,474
	その他の有形固定資産	919,716
	特定資産	274,382
	その他の固定資産	36,937
	有価証券	50
	その他の固定資産	36,887
	流動資産	784,180
	現金預金	664,550
	その他の流動資産	119,631
	資産の部合計	5,447,449
負債の部	固定負債	587,952
	長期借入金	280,222
	その他の固定負債	307,730
	流動負債	223,675
	短期借入金	66,156
	その他の流動負債	157,519
負債の部合計	811,627	
純資産の部	基本金	6,872,514
	第1号基本金	6,709,514
	第4号基本金	163,000
	繰越収支差額	△ 2,236,692
	純資産の部合計	4,635,822
	負債及び純資産の部合計	5,447,449

*千円未満四捨五入の為、各項目の合計欄とは一致しない。

事業活動報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで（単位：千円）

		科目	決算額	
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,264,524	
		手数料	26,385	
		寄付金	9,230	
		経常費等補助金	666,811	
		国庫補助金	92,349	
		地方公共団体補助金	574,462	
		付随事業収入	76,076	
		雑収入	78,917	
		教育活動収入計	2,121,943	
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	人件費
教育研究経費	464,823			
管理経費	196,088			
徴収不能額等	0			
教育活動支出計	2,113,943			
		教育活動収支差額	7,999	
教育活動外収入の部	事業活動収入の部	受取利息・配当金	106	
		教育活動外収入計	106	
		教育活動外支出の部	借入金等利息	3,936
			教育活動外支出計	3,936
		教育活動外収支差額	△ 3,829	
		経常収支差額	4,170	
特別収入	事業活動収入の部	その他の特別収入	3,875	
		特別収入計	3,875	
	事業活動支出の部	資産処分差額	3,518	
		その他の特別支出	14,510	
		特別支出計	18,028	
		特別収支差額	△ 14,153	
		（予備費）		
		基本金組入前当年度収支差額	△ 9,982	
		基本金組入額合計	△ 105,628	
		当年度収支差額	△ 115,610	
		前年度繰越収支差額	△ 2,121,082	
		基本金取崩額	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 2,236,692	

（参考）

事業活動収入計	2,125,924
事業活動支出計	2,135,907

*千円未満四捨五入の為、各項目の合計欄とは一致しない。

Luther
九州ルーテル学院報
No.17

発行 学校法人 九州ルーテル学院
発行日 2020年7月10日
編集 九州ルーテル学院報編集委員会
印刷 株式会社 河田印刷

ご意見・ご感想は編集委員会まで

〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL.096-343-3111 感恩奉仕
shomu@klc.ac.jp ~Gratitude and service~